

表6 医療処置サービスの提供状況

	①介護保険									② 医療保険等	③ その他	④ 合計
	小計	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他			
実人数	2867	36	115	286	511	603	577	724	15	807	4	3678
1 人工呼吸療法	15 (0.5)	0 (0)	0 (0)	1 (0.4)	2 (0.4)	4 (0.7)	4 (0.7)	3 (0.4)	1 (6.7)	79 (99)	1 (25.0)	95 (2.6)
1-1)経気管(IPPV)	6 (0.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0.3)	3 (0.4)	1 (6.7)	55 (6.8)	0 (0)	61 (1.7)
1-2)非経気管(NPPV)	9 (0.3)	0 (0)	0 (0)	1 (0.3)	2 (0.4)	4 (0.7)	2 (0.3)	0 (0)	0 (0)	24 (3.0)	1 (25.0)	34 (0.9)
2 気管切開のみ	70 (2.4)	2 (5.6)	1 (0.9)	2 (0.7)	3 (0.6)	4 (0.7)	8 (1.4)	49 (6.8)	1 (6.7)	62 (7.7)	0 (0)	132 (3.6)
3 吸引	263 (9.2)	1 (2.8)	4 (3.5)	1 (0.3)	4 (0.8)	8 (1.3)	27 (4.7)	218 (29.0)	0 (0)	197 (24.4)	0 (0)	460 (12.5)
4 在宅酸素療法	243 (8.5)	7 (19.4)	19 (16.5)	30 (10.5)	54 (10.6)	47 (7.8)	34 (5.9)	52 (7.2)	0 (0)	91 (11.3)	0 (0)	334 (9.1)
5 経管栄養法	375 (13.1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0.6)	12 (2.0)	22 (3.8)	358 (49.4)	0 (0)	203 (25.2)	0 (0)	598 (16.3)
5-1)経鼻	44 (1.5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0.5)	3 (0.5)	38 (5.2)	0 (0)	65 (8.1)	0 (0)	109 (3.0)
5-2)胃瘻	351 (12.2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0.6)	9 (1.5)	19 (3.3)	320 (44.2)	0 (0)	138 (17.1)	0 (0)	489 (13.3)
6 点滴療法	82 (2.9)	0 (0)	2 (1.7)	3 (1.0)	8 (1.6)	15 (2.5)	10 (1.7)	44 (6.1)	0 (0)	47 (5.8)	0 (0)	129 (3.5)
6-1)中心静脈栄養	33 (1.2)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)	4 (0.8)	6 (1.0)	3 (0.5)	18 (2.5)	0 (0)	23 (2.9)	0 (0)	56 (1.5)
6-2)その他点滴	49 (1.7)	0 (0)	2 (1.7)	1 (0.4)	4 (0.8)	9 (1.5)	7 (1.2)	26 (3.6)	0 (0)	24 (3.0)	0 (0)	73 (2.0)
7 人工透析	48 (1.7)	1 (2.8)	0 (0)	6 (2.1)	16 (3.1)	7 (1.2)	10 (1.7)	8 (1.1)	0 (0)	3 (0.4)	0 (0)	51 (1.4)
7-1)血液透析	37 (1.3)	1 (2.8)	0 (0)	4 (1.4)	13 (2.5)	5 (0.8)	8 (1.4)	6 (0.8)	0 (0)	3 (0.4)	0 (0)	40 (1.1)
7-2)自己腹膜透析	11 (0.4)	0 (0)	0 (0)	2 (0.7)	3 (0.6)	2 (0.3)	2 (0.3)	2 (0.3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0.3)
8 排尿・排便管理	482 (16.8)	6 (16.7)	13 (11.3)	15 (5.2)	55 (10.8)	82 (13.6)	106 (18.2)	201 (27.8)	4 (26.7)	64 (7.9)	2 (50.0)	64 (1.7)
8-1)自己排尿	38 (1.3)	0 (0)	1 (0.9)	2 (0.7)	7 (1.4)	11 (1.8)	8 (0.4)	7 (1.0)	2 (13.3)	35 (4.3)	0 (0)	73 (2.0)
8-2)膀胱留置カテーテル	293 (10.2)	1 (2.8)	2 (1.7)	2 (0.7)	16 (3.1)	38 (6.3)	74 (12.8)	159 (22.0)	1 (6.7)	79 (9.8)	0 (0)	372 (10.1)
8-3)人工肛門・膀胱	119 (4.2)	3 (8.3)	8 (7.0)	8 (2.8)	23 (4.5)	30 (5.0)	18 (3.1)	29 (4.0)	0 (0)	36 (4.5)	0 (0)	155 (4.2)
8-4)腎囊・尿管皮膚瘻	32 (1.1)	2 (5.6)	2 (1.7)	3 (1.0)	9 (1.8)	3 (0.5)	6 (1.0)	6 (0.8)	1 (6.7)	14 (1.7)	2 (50.0)	48 (1.3)
9 褥瘡	163 (5.7)	0 (0)	1 (0.9)	3 (1.0)	5 (1.0)	11 (1.8)	30 (5.2)	111 (15.3)	2 (13.3)	43 (5.3)	0 (0)	200 (5.4)
医療処置合計	1,761 (61.4)	17 (47.2)	40 (34.8)	61 (21.3)	150 (29.4)	190 (31.5)	251 (43.5)	1,044 (144.2)	8 (53.3)	889 (110.2)	3 (75.0)	2,653 (72.1)

単位：人、( )内の数値は実人数に対するパーセントを示す。

医療処置合計(人)は、重複して処置を受けているため、実人数とは異なる。

表7 在宅重症療養患者の把握内容の枠組み

項目	内容
1. 療養者の基本情報	住所、氏名、電話、メール 生年月日、血液型等
2. 家族の支援体制	家族構成、年齢、健康状態、介護力、 仕事の有無等
3. 療養者の身体状況	医療処置管理、特定症状(呼吸障害等) 栄養管理、コミュニケーション方法、ADL等
4. 利用制度	介護保険要介護認定、障害者手帳、 難病認定、年金、手当等
5. 災害時連絡	災害時連絡網、災害時連絡の確保、避難所、 搬送医療機関、他地域の家族連絡先等
6. 医療機器	人工呼吸器、在宅酸素供給器、吸引器、 経管栄養、点滴等
7. 福祉機器	車椅子、文字盤、杖、手すり、 介護用ベッド、エアマット等
8. 療養支援体制	専門医、かかりつけ医、訪問看護、訪問介護、 緊急時訪問、病床確保、通所施設等
9. 備蓄と 非常用持出用品	代替医療機器、予備の衛生材料、予備薬、 バッテリー、栄養剤、防災袋等
10. 家屋の耐震	耐震度、住居内の完全地帯の確認、 居住階、非常階段等
11. 支援区分	自力避難、介助避難、医療機関搬送、 他地域の家族非難等

表8 新潟県中越沖地震(平成19年)と新潟県中越地震(平成16年)の規模と被害状況

	新潟中越沖地震(平成19年)	新潟中越地震(平成16年)
発生日時	7/16(月・祝)10:13	10/23(土)17:56
震度(M)	6度(M6.8)	7度(M6.8)
被災地域	柏崎市、刈羽村	川口町、小千谷市、小国町、 山古志村、長岡市、十日町市
死者	10人	46人
負傷者	1,294人	4,709人
被災家屋	8,307棟	13,794棟
全壊家屋	943棟	3,175棟
避難所数	50箇所	603箇所
通信	当日には固定・携帯ともにつながる	固定・携帯ともに不通
電気	停電2万4千戸 7/18(水)20:00全戸で復旧	停電27万戸
水道	7/18(水)9:00被災地域以外は復旧 15日間で全面復旧	復旧作業長期化
ガス	復旧作業長期化	復旧作業長期化

表9 新潟県中越沖地震(平成19年)、新潟県中越地震(平成16年)、阪神・淡路大震災  
(平成7年)の在宅酸素療法患者状況および酸素ボンベ追加投入状況

	新潟中越沖地震 (平成19年)	新潟中越地震 (平成16年)	阪神淡路大震災 (平成7年)
在宅酸素療法患者状況			
在宅	308人(99.7%)	337人(86.6%)	539人(67.8%)
入院	0人( 0%)	37人( 9.5%)	101人(12.7%)
避難	1人( 0.3%)	15人( 3.9%)	136人(17.2%)
死亡	0人( 0%)	0人( 0%)	18人( 2.3%)
合計	309人	389人	793人
酸素ボンベ追加投入状況			
他社より 調達	330本 名古屋支店 200本 千葉・埼玉・栃木130本	340本	400本
新規購入	0本	200本	500本
合計	330本	540本	900本

表10 新潟県中越沖地震(平成19年)の被災地別在宅酸素療法患者状況

	長野県	新潟県	交流量患者(再掲)
対象地域 (震度6強) (震度6弱) (震度5強)	飯網町  飯山市、信濃町、中野市	柏崎市、刈羽村、長岡市  小千谷市、出雲崎町、上越市(柿崎区等)  三条市、燕市	
対象者	88人	309人	27人
施設数	9施設 (6病院、3診療所)	53施設 (23病院、30診療所)	
安否確認	7月16日17:30 全員無事を確認 (発災7時間後)	7月16日21:30時点 未確認5人 (長岡市4人、小千谷市1人)	7月16日17:00 全員無事を確認
		7月17日16:00 全員無事を確認 (発災30時間後)	

表11 在宅重症療養患者の緊急・災害支援体制の項目(ケア要件)との関連

項目	下位項目	図との関連
A 支援方針	A-1) 緊急・災害対策の理解	ステージⅣ－①
	A-2) 緊急・災害支援方針の意思決定	ステージⅣ－①
B 安全性の管理	B-1) 家屋の安全性のアセスメント	ステージⅠ－① ステージⅠ－②
	B-2) 居宅における安全地帯の確保	ステージⅠ－③ ステージⅠ－④ ステージⅠ－⑤
C 医学的管理	C-1) 安全な医療処置管理	ステージⅢ－①
	C-2) 医療機器類の日常点検	ステージⅡ－② ステージⅡ－③ ステージⅡ－④
D 準備と訓練	D-1) 防災訓練	ステージⅡ－①
	D-2) 救急処置訓練	ステージⅢ－② ステージⅢ－③
E 協力体制の構築	E-1) 緊急・災害連絡対応手順の整備	ステージⅢ－④
	E-2) 緊急・災害時の救護施設の確保	ステージⅥ－① ステージⅥ－② ステージⅥ－③
F 物品の整備	F-1) 防災用具の整備	ステージⅤ－①
	F-2) 医療用バッグの整備	ステージⅤ－②
J 地域参加	J-1) 外出支援	ステージⅤ－③
	J-2) 近隣の協力体制の確保	ステージⅣ－②
	J-3) 地域の協力体制の整備	ステージⅣ－③ ステージⅣ－④ ステージⅣ－⑤

表12 在宅重症療養患者の緊急・災害支援体制の項目(構造要件)との関連

分類	下位項目	図1との関連
A 災害理念	A-1) 組織の理念・運営方針	ステージVI
B 組織構成	B-1) 理念・運営方針に基づく組織図	ステージIV
	B-2) 緊急・災害に対するケア提供の方針	ステージVI
C 人員配置	C-1) 緊急・災害支援の専門性を有する職員配置	ステージV
	C-2) 職員の負担軽減に配慮した配置	ステージV
D 職員教育	D-1) 緊急・災害支援についての知識・技術の向上	ステージI
	D-2) 緊急・災害支援に関する助言・指導	ステージII
E 支援の標準化	E-1) 緊急・災害支援のケアの Protokol	ステージIII
	E-2) 緊急・災害支援体制の評価	ステージIII
F 支援体制	F-1) 緊急・災害時における24時間ケア提供体制	ステージV
	F-2) 緊急・災害支援に対する医療機器の整備	ステージII
J 連携体制	J-1) 緊急・災害支援に関する関係機関への支援	ステージVI
H 広報	H-1) 緊急・災害支援に関する情報の整備・発信	ステージI
	H-2) 緊急・災害支援の普及・啓発	ステージI
I 療養者管理	I-1) 緊急・災害支援に対応した療養者管理体制	ステージIV

表13 耐震診断 簡易問診表

番号	項目
1	建てたのはいつ頃か？ (1981年6月に建築基準法が改正され、耐震基準が強化)
2	今までに災害に遭遇したことがあるか？
3	増築したことがあるか？
4	傷み具合や補修・改修の確認はしているか？
5	建物の平面はどのような形か？
6	一辺が4m以上の吹き抜けがあるか？
7	1階と2階の壁面が一致しているか？
8	1階外壁の東西南北のどの面にも壁(約91cm以上の幅)があるか？
9	屋根葺材は重い瓦ではないか？
10	鉄筋コンクリートのような強固な基礎か？



表14 安全空間の確保チェック

番号	項目
1	療養ベッドの上に倒れこむような照明・家具の配置をしていないか？
2	部屋の出入り口付近や廊下階段などに家具類を置いていないか？
3	地震時の出火を防ぐため火気の周辺に家具を置いていないか？ (酸素ボンベは火気から遠いところに管理しているか？)
4	カーテンやふとん類は防火素材のものを選んでいるか？
5	家具の上にガラス製品やテレビ等落下すると危険なものを置いていないか？ （人工呼吸器や吸引器は免震台に載せるか、キャスターはロックせずにある程度の可動性を保持しているか？） （人工呼吸器や吸引器の上に蒸留水や消毒薬などこぼれやすいものを置いていないか？）
6	重いものを下のほうに収納し、倒れにくくしてあるか？
7	前のめりより、後ろもたれ気味に家具を置いているか？
8	代替機器、予備衛生材料等は最も安全で見つかりやすいところにおいているか？

表15 適正な使用のための人工呼吸器の日常点検記録

設定条件	<設定>	チェック
◎ 換気モード		<input type="checkbox"/>
◎ 1回換気量(又は設定圧)		<input type="checkbox"/>
◎ 呼吸回数(又はバックアップ回数)		<input type="checkbox"/>
プレッシャーサポート圧(該当機種のみ)		<input type="checkbox"/>
PEEP圧(該当機種のみ)		<input type="checkbox"/>
I:E比(又は吸気時間)		<input type="checkbox"/>
吸気流量		<input type="checkbox"/>
トリガー感度		<input type="checkbox"/>
気道内圧下限アラーム		<input type="checkbox"/>
気道内圧上限アラーム		<input type="checkbox"/>
分時換気量低下アラーム(該当機種のみ)		<input type="checkbox"/>
<b>チェック(確認)項目</b>		
● 気道内圧		<input type="checkbox"/>
● 呼吸回数		<input type="checkbox"/>
● 換気量(該当機種のみ)		<input type="checkbox"/>
◎ 使用電源		<input type="checkbox"/>
<b>加温加湿器</b>		
◎ 加温加湿器の温度(ダイヤル設定値)		<input type="checkbox"/>
◎ 加温加湿器の水位		<input type="checkbox"/>
◎ チャンバーの亀裂・破損はないか?		<input type="checkbox"/>
<b>呼吸器回路</b>		
◎ 接続部の緩み・はずれはないか?		<input type="checkbox"/>
◎ 回路・フィルターの汚れはないか?		<input type="checkbox"/>
◎ 回路・チューブ内の結露はないか?		<input type="checkbox"/>
<b>本体設置環境</b>		
埃などで汚れていないか?		<input type="checkbox"/>
直射日光は当たっていないか?		<input type="checkbox"/>
空気の取り入れ口はふさがれていないか?		<input type="checkbox"/>
電源プラグの抜け、コードの異常はないか?		<input type="checkbox"/>
電磁波の影響はないか?		<input type="checkbox"/>
本体は熱くなっていないか?		<input type="checkbox"/>
異常な音、においはないか?		<input type="checkbox"/>
外部バッテリーケーブルは接続しているか(対応機種のみ)		<input type="checkbox"/>
(又は適切に充電されているか?)		<input type="checkbox"/>

◎: 適正な作動状況の確認上、特に重要な項目

●: 療養者の状態を示す観察値として重要な項目

社団法人全国訪問看護事業協会: 訪問看護ステーションに係わる介護保険サービスにおける看護提供体制のあり方に関する研究 訪問看護ステーションの業務基準に関する検討. 平成18年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康推進等事業)報告書. p.67.2007年一部改変



表17 日常的症状アセスメント

	障害・症状	アセスメント	実践
1	運動及び行動の障害	随意運動障害、運動失調やパーキンソニズム、不随意運動、執行、筋萎縮、筋力低下等の症状アセスメント	症状の改善、事故(転倒等)防止のため、服薬管理、装具、自助具の工夫、環境整備等についてのケア
2	姿勢保持障害	側彎、筋萎縮、筋力低下等による姿勢保持障害のアセスメント	安全で安楽な姿勢保持の工夫、合併症(褥瘡等)の予防等についてのケア
3	呼吸障害	疾患特性に応じた呼吸障害(呼吸筋麻痺、声帯外転麻痺、夜間無呼吸症候群等)のアセスメント	呼吸障害に伴う生命維持への危険性への対応や医療処置管理の実施、安楽な日常生活支援についてのケア 専門的気道ケア(唾液の管理、排痰介助、スクウィージング、吸引等)、胸郭可動域保持のためのケア
4	嚥下障害	疾患特性に応じた嚥下障害(球麻痺、仮性球麻痺、舌萎縮等)のアセスメント	嚥下障害に伴う生命維持への危険性への対応や医療処置管理の実施、安楽な食事支援についてのケア 水分・栄養分の適切で安全な摂取に必要な栄養補助製品や食事形態の工夫、経管栄養の導入等のケア
5	コミュニケーション障害	疾患特性に応じたコミュニケーション障害のアセスメント	コミュニケーションの方法(透明文字盤等)の助言・指導・導入・訓練のケア
6	自律神経障害	自律神経障害(起立性低血圧、排尿排便障害、対応調節障害等)のアセスメント	症状コントロール(血圧、排尿、排便、体温等)、事故(転倒、ショック、低体温等)に対するケア
7	その他の身体症状	上記以外の身体症状についてのアセスメント	
8	精神症状	精神症状(幻覚、せん妄、抑うつ、不安、不眠等)について、原因(薬の副作用、身体症状の進行、心理的要因等)のアセスメント	薬のコントロール、カウンセリング等のケア

社団法人全国訪問看護事業協会：専門特化型訪問看護ステーションのサービス提供体制に関する調査研究事業。平成17年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業)研究報告書.p.84-85.2006.一部改変



表19 非常用持ち出し品の整備

分類	品目	内容	個数
災害直後に必要なもの			
飲食に関するもの	非常食		
	飲料水		
	缶切り		
	栓抜き		
	紙皿、紙コップ		
	ナイフ		
	ライター		
救出・非難に関するもの	防災ずきん		
	軍手		
	ヘルメット		
	懐中電灯		
	救急薬品		
保清に関するもの	着替え		
	おしぼり		
	ハンカチ/タオル		
	ティッシュ		
	生理用品		
	オムツ		
	携帯トイレ		
情報・連絡に関するもの	携帯用ラジオ		
	携帯電話		
	連絡先リスト		
生活費に関するもの	現金・小銭		
	貯金通帳・印鑑		
身分証明に関するもの	免許証		
	健康保険証		
個別性の高いもの	めがね		
	コンタクトレンズ		
	入れ歯		
	補聴器		
長期間の避難生活に必要なもの			
飲食に関するもの	ポリタンク		
	携帯コンロ		
	鍋		
日用品に関するもの	爪きり		
	裁縫道具		
	雨具		
	ガムテープ		
娯楽等に関するもの	図書		
	おもちゃ		
	教科書		
その他			

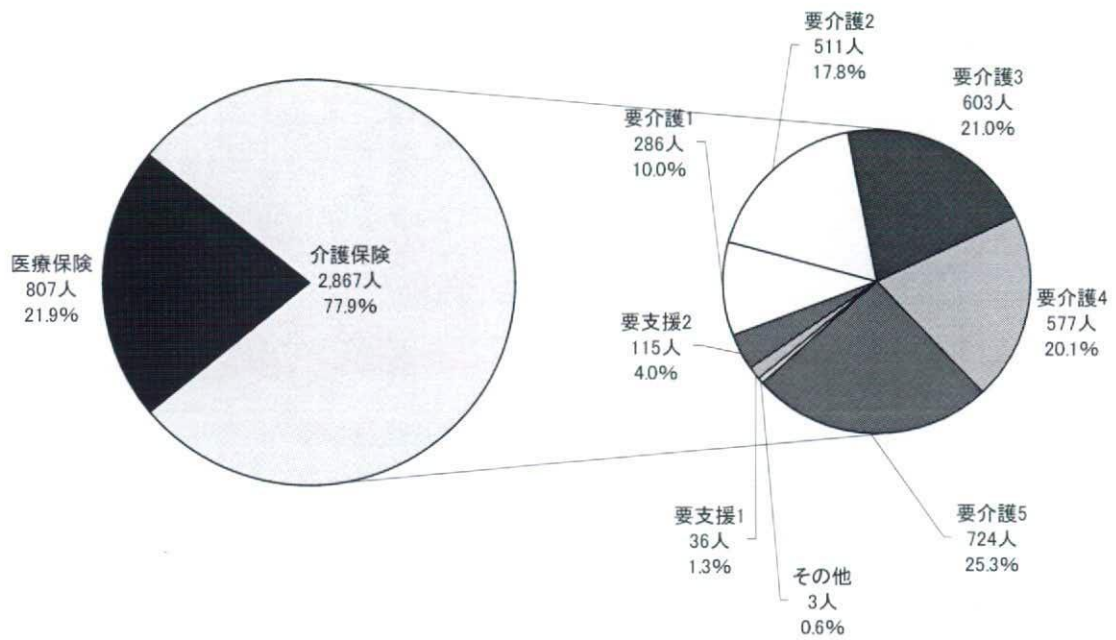


図1 医療保険および介護保険(介護度別)別の訪問看護利用者内訳

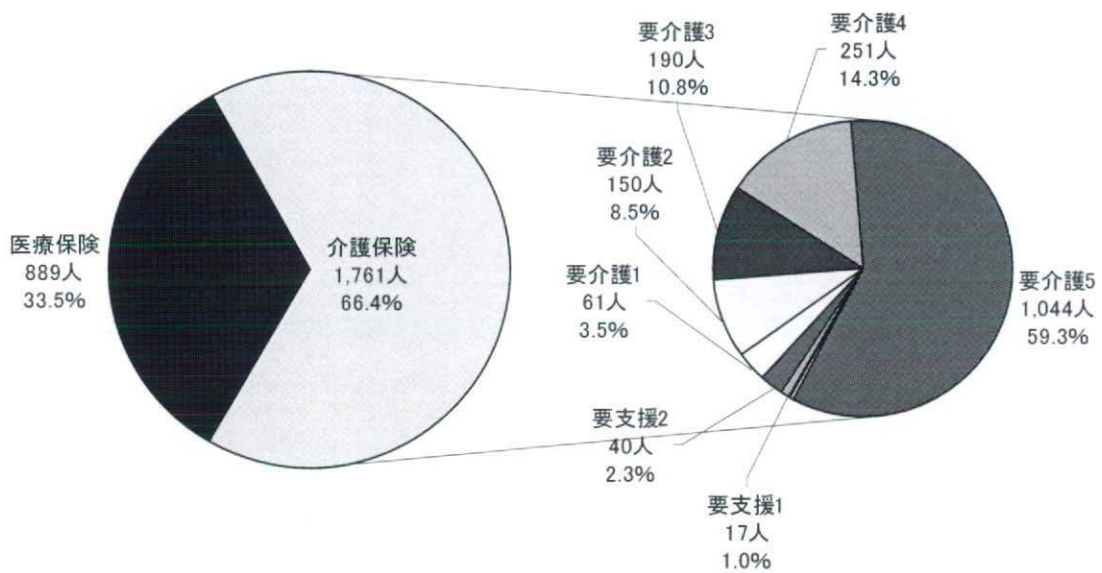


図2 医療保険および介護保険(介護度別)別の医療処置者の内訳

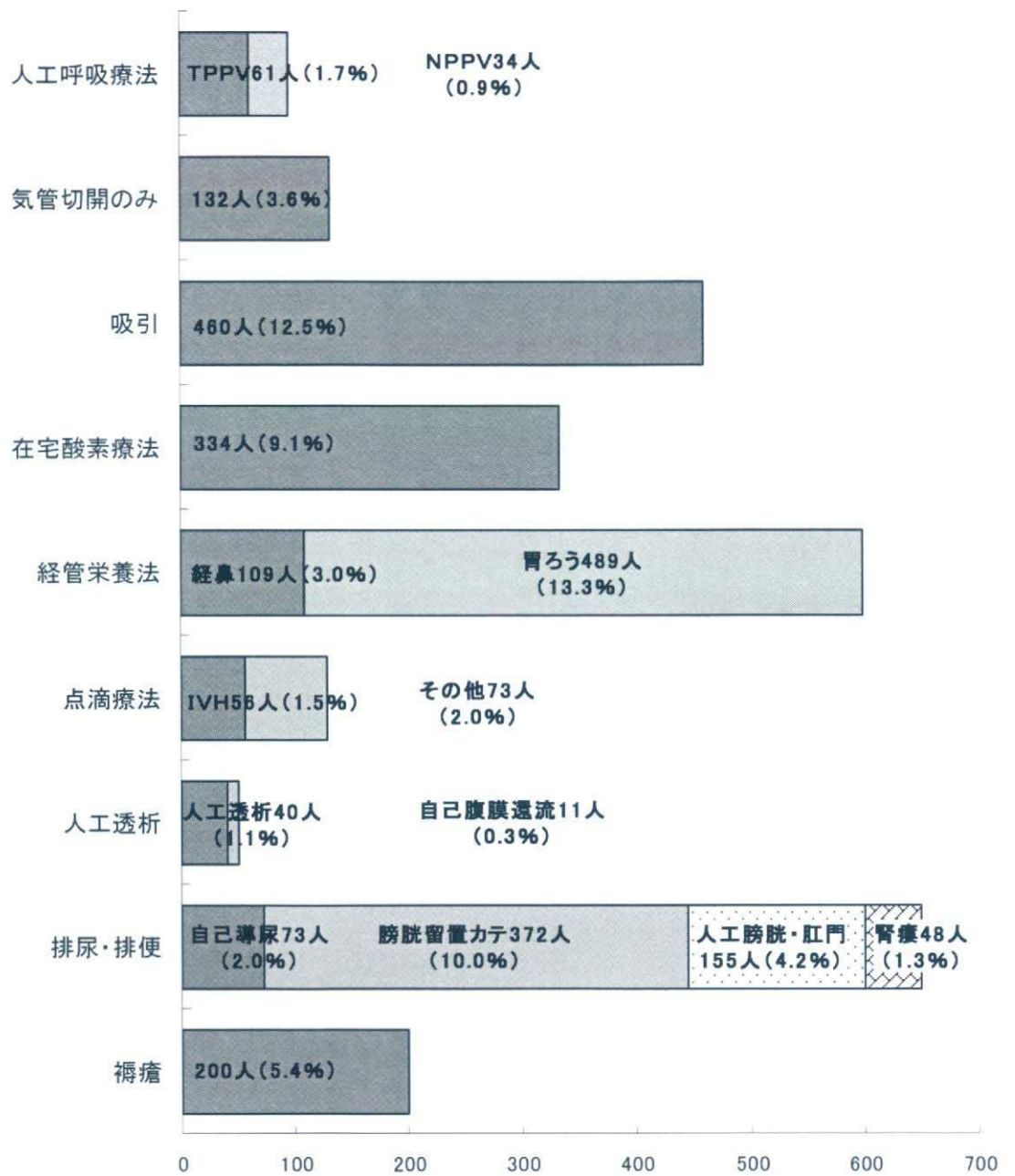


図3 医療処置別の訪問看護利用者

(人)

\* ( )内は、全訪問看護利用者実数における各医療処置を受けている人数の割合を示す。



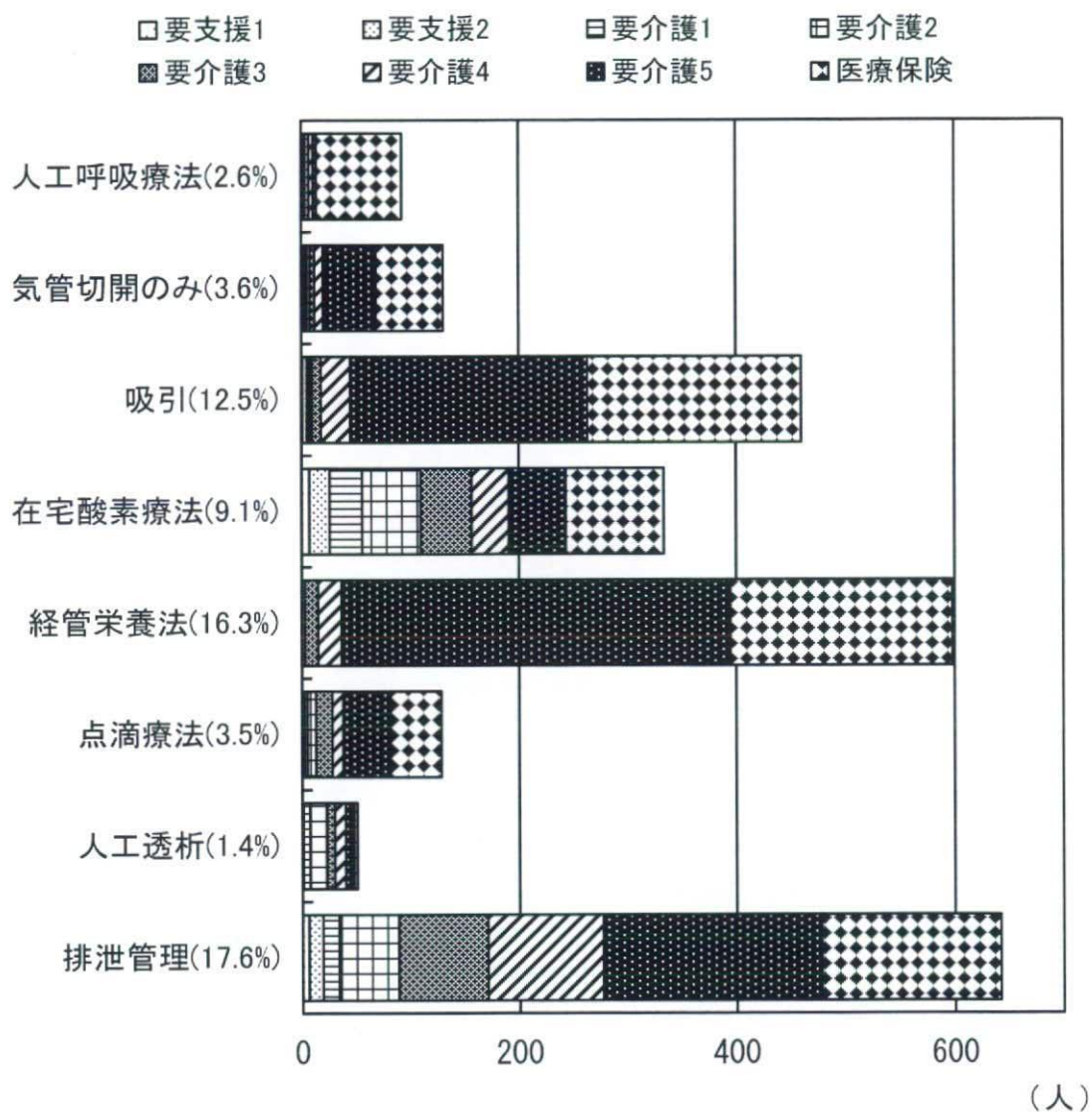


図4 医療処置別 介護保険(介護度別)・医療保険の分布

\* ( )内は、全訪問看護利用者実数における各医療処置を受けている人数の割合を示す。

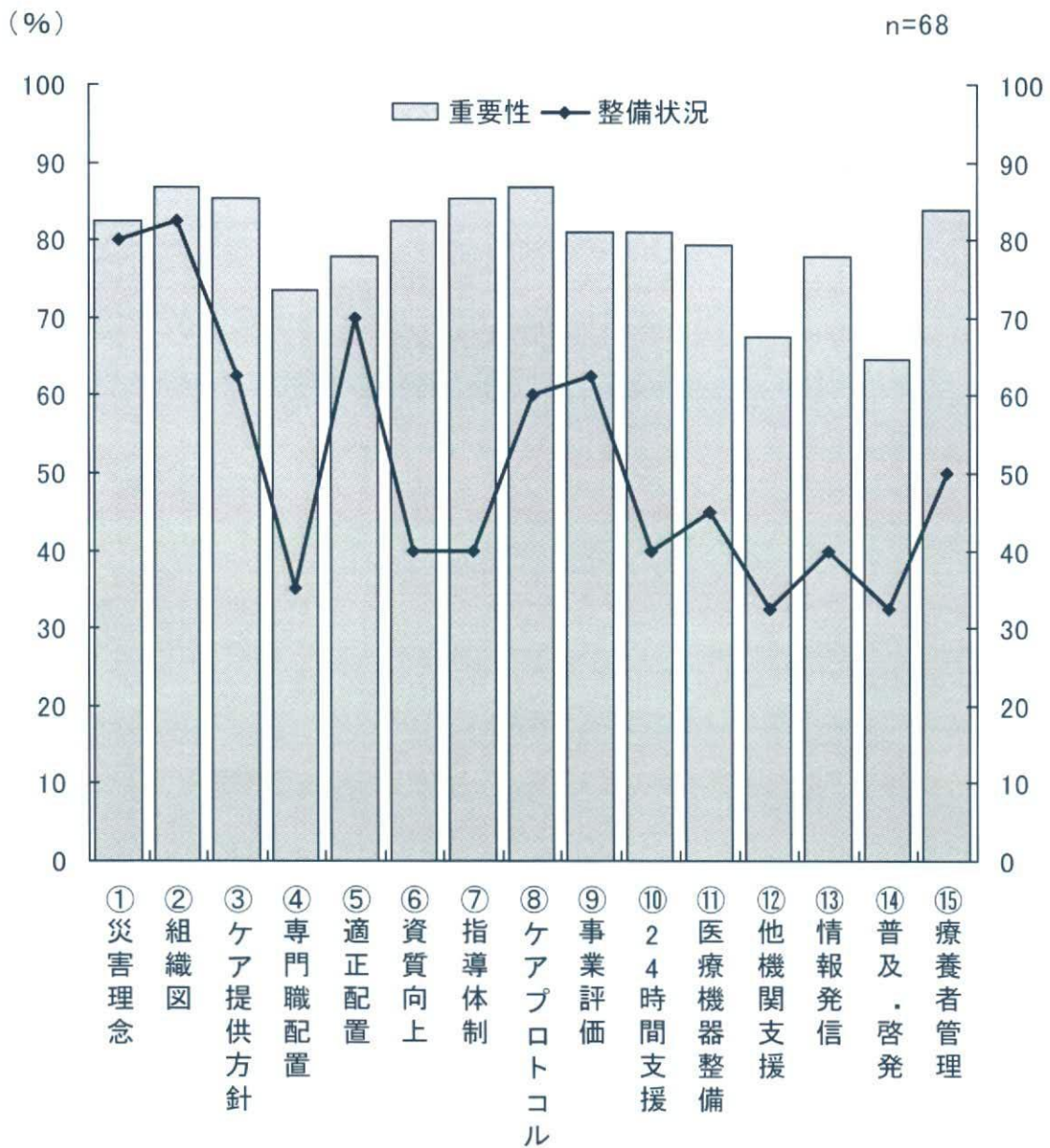


図5 緊急・災害支援に対する訪問看護提供事業所の  
構造要件の重要性と整備状況

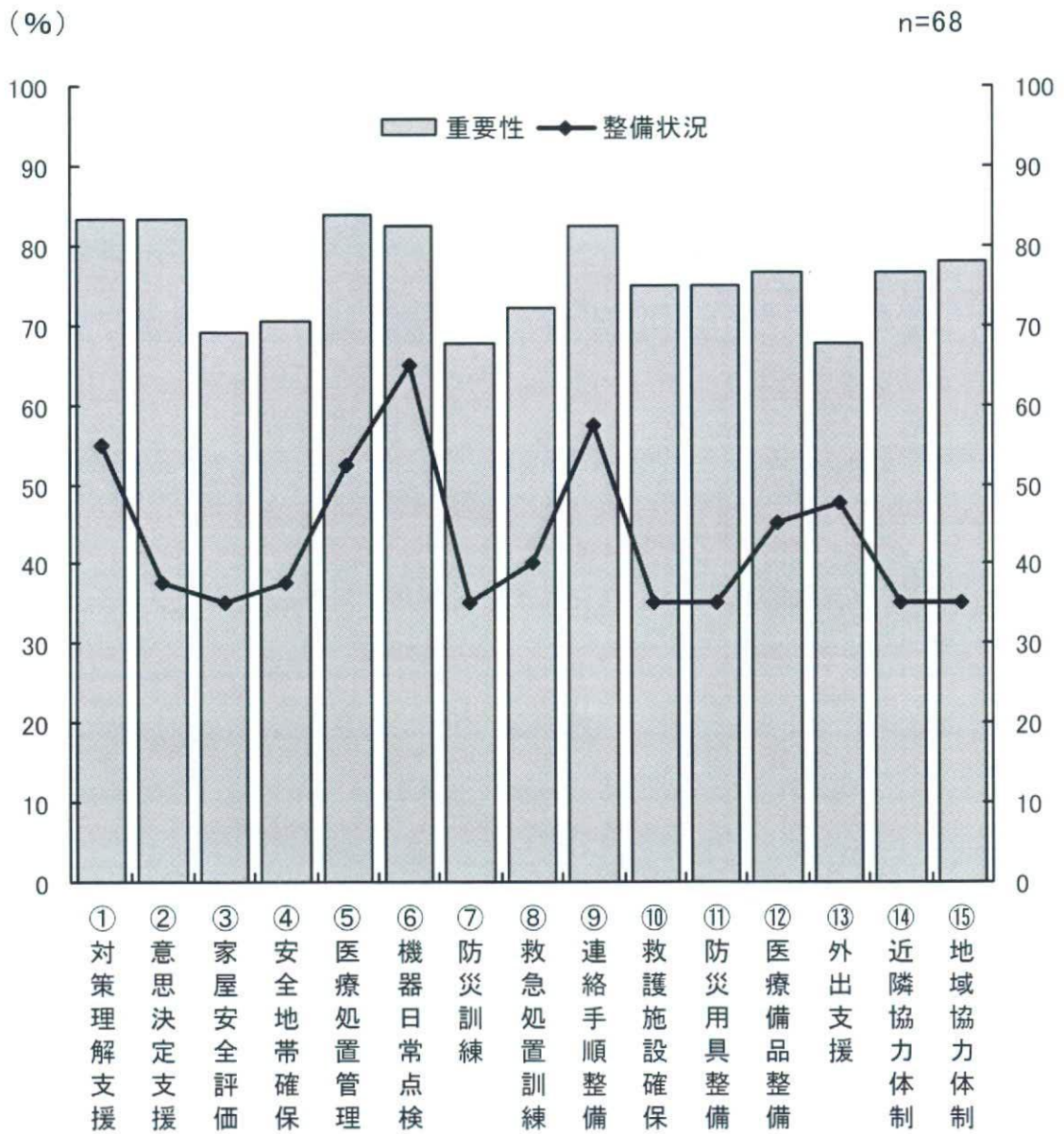


図6 緊急・災害支援に対する訪問看護提供事業所のケア要件の  
重要性と整備状況

# 災害発生時行動マニュアル

災害発生時に何が起るのか、自分は何をすべきか、日頃からのイメージ作りが大切！

- ◆家具や照明器具、医療機器等の倒壊
  - 医療機器類の散乱・破損
  - ガラスによるケガ
  - 脱出・交通経路の遮断

## ◆ライフラインの遮断

- ガス→火災、お湯が沸かせない
- 電気→医療機器類等・電話が使えない
- 水道→清潔が保持できない

## ◆支援者も被災者に

- 自分の身は、自分で守ることができるように支援する！

## 現 状

### 災害発生 0分～2分

とにかく、自分と家族の身を守ろう！

何よりも、**出火防止！**  
あわてず落ち着いて行動しよう  
**火の始末をしたら我が家の安全確認！**  
家族の身の安全は？  
医療機器の安全は？

### 災害発生 5分～10分

**トリアージ**  
どこで過ごす？  
どうやって過ごす？  
治療は必要？  
支援は必要？

隣近所と親戚で**安否を確認し合い助け合おう！**  
個人や家族だけでは活動に限界があります  
隣近所で協力し合って乗り越えよう！

### 災害発生 10分～半日

2～3日は、自分たちでしのごう！  
ライフラインや食料の流通が途絶えても自分たちでしのげる備えを日頃から**病状の安定を図り支え合おう！**

### 災害発生 半日～3日

地域力を活かした**復興を進めよう！**  
通常の生活に戻るためには、地域の皆が相互に協力し、行政機関や支援サービス提供機関が協働することが大切です

### 災害発生 3日以降

**我が家の安全点検をしよう！**  
①耐震診断を受けよう  
②家具類の固定・補強や落下防止を強化しよう  
③療養室の安全スペースを確保しよう  
④ストーブなど火気器具・危険物の管理・保管に注意しよう  
⑤医療機器類の管理に注意しよう

**いざという時の為に、日常点検と訓練を欠かさずに！**  
①防災訓練に参加しよう  
②蘇生バッグ等を日常的に活用しよう  
③医療機器の日常点検を実施しよう  
④バッテリー等の代替機器類の確保と日常点検を実施しよう

**落ち着いて判断し、行動できる準備と訓練をしよう！**  
①日常的に症状のアセスメントをしよう  
②救急処置の訓練に参加しよう  
③救出用具の準備をしておこう  
④緊急時の支援体制を確認し、連絡網を作っておこう

普段から隣近所の**協力体制を作っておこう！**  
①定期的に家族で防災会議を開こう  
②隣近所に自分たちの状況を知ってもらおう  
③災害用連絡方法の確認をしておこう  
④緊急連絡先のリストを作成しよう  
⑤電力会社・消防等の方体制の確認しておこう

日頃から**“暮らしを守る”と“命を守る”**備えを！  
①療養者と家族にあった防災用具の備蓄をしよう  
②医療用災害バッグの準備と日常点検をしよう  
③日常的に外出を実施し、外の環境に慣れさせておこう

平常時から**地域づくり活動**に取組もう！  
①地域の会議に積極的に参加して、災害時の対応を話し合おう  
②支援サービス提供者（訪問看護事業所等）と災害時の対応を一緒に考えよう  
③自分たちがどのような行動ができ、隣近所にどのような支援が提供でき、求められるのかイメージしておこう

## 対 策